



見附市立見附小学校 学校だより

「自ら学び 進んで鍛え 共に伸びる見小の子」

みしよ

No. 328

令和4年11月2日(水)発行

〒954-0052

見附市学校町1丁目3番89号

Tel 0258 (62) 0141

<http://www.mitsuke-ngt.ed.jp/~misho/>



一人ひとりの確かな成長を実感

校長 後藤 正美

音楽会の余韻が、まだ心に残っています。

郷育フェスタ前日のこと。会場準備のお手伝いをしている6年生から、「こども雑巾でふこうよ」とか、「やったー」とか、「明日楽しみだ」とか、前向きな言葉と笑い声がたくさん聞かれました。ふざけているのではないのです。準備の仕事を楽しんでいるのです。全校のための仕事を楽しむ最高学年の姿に、郷育フェスタ当日の成功を確信しました。

見附小職員が、この郷育フェスタで目指す姿は1つでした。大人が何でも指示するのではなく、子供たち自身が考えながら、よりよい作品や発表を創り上げていく姿です。これからの未来を生き抜く子供たちは、何事にも主体的・創造的にかかわる経験が必要です。自分たちで考えるプロセス、自分たちでやりきった達成感を、今まで以上に大切に作る郷育フェスタにしよう取り組みました。例えば音楽練習であれば、発表の様子を教師が評価するだけでなく、発達段階に応じて意見を出し合い、次の練習方法や本番のイメージを子供たちから引き出しながら練習しようと試みました。

右の写真は、郷育フェスタ前日の4年生教室の黒板です。残念ながら欠席しなくてはならない仲間や担任に、思いを届けようというメッセージにあふれていました。郷育フェスタ当日の4年生の姿からは、休んだ人の分も支え合って演奏しようという心が確かに伝わってきました。

見小っ子が、明るく穏やかでよい子である理由は、子供たちを愛情いっぱい育ててくださる保護者の皆様、「愛育」の心で見守ってくださる地域の皆様の力に依るところが大きいです。この眼差しと励ましが、子供の心を豊かにしています。

子供たちがひたむきに取り組む姿は、本当によいものです。1つ1つの行事を心に刻みながら一步一步成長できるよう、皆様からの変わらぬご支援をいただきながら、これからも「オール見附小」で子供たちを育てて参りましょう。